

益子貴寛の「これ読も10(テン)」

2019年4月号

執筆: 益子 貴寛 (株式会社まぼろし)

この連載では、個人や中小企業でホームページ制作や運用を担当している人、店舗などを運営しながらホームページづくりに関わっている人に役立つ記事を10個、解説つきで取り上げます。

1. BtoBマーケの戦略策定 損する会社と得する会社を比べてみた (MarkeZine)



今月のイチオシ記事。

冒頭にMA(マーケティングオートメーション)ツールで成果が出る条件として次の3つが挙げられており、とても参考になります。

1. 保有するリード(潜在的な見込み客のリスト)が10,000件以上ある
2. インサイドセールス(非対面での営業活動)の体制が整っている
3. リードとのコミュニケーションに必要なコンテンツ
(ブログ、セミナー、ホワイトペーパーなど)を、定期的に生み出せる体制がある

なお、インサイドセールスは「内勤営業」とも呼ばれ(反対に「外勤営業」を意味するのはフィールドセールス)、オンライン会議、電話、メール、チャットなど、顧客への訪問をとまなわないアプローチ方法です。特に、お互いの顔が見ながらリアルタイムに会話ができるオンライン会議が広く活用されるようになっていきます。

<https://markezine.jp/article/detail/30492>

2. 新元号【令和】決定に伴い、EC事業者が準備すべきこととは?(ECのミカタ)



4月1日に、新元号「令和(れいわ)」が発表されました。

経済産業省からの公益社団法人日本通信販売協会(JADMA)への「改元に伴う情報システム改修等への対応について」という事務連絡で、次のような作業項目が案内されました。

新元号公表前に行う作業

1. 和暦の使用状況の調査とシステム改修計画の策定
2. 他のシステムとの連携における連携先の対応方針の確認
3. プログラムの修正と動作テスト
4. 修正したプログラムの適用などのリリース作業のリハーサル

新元号公表後に行う作業

1. 新元号の適用(仮元号から新元号に置き換える作業のみならず、OS等のアップデート含む)
2. 印字や表示を含め、処理が適正に行われているかどうかのテスト
3. 他システムとの連携のテスト(動作確認、エラー修正、再確認等)

<https://www.jadma.org/news/info/2#1778>

target="_blank">JADMA公表のチェックリストもダウンロードできますので、ECサイト担当者の方は確認してみ

てください。

3. Adobe Fontsの日本語フォントの新元号「令和」の合字への対応について(Adobe Blog)



引き続き、新元号「令和」の話題を。

5月1日からの改元にもなつて、**Adobe Fonts**が提供している**小塚明朝、小塚ゴシック、源ノ角ゴシック、Pan-CJK**フォントを4月30日までにアップデートするそうです。

令和の合字について、「国際標準化機関のISO/IEC JTC1/SC2において、上記UCSの標準の中の、U+32FFのコードポイントに割り当てることが事前に決定されました。今回のアップデートでは、このコードポイントに対応する横組み用と縦組み用の2つの合字を作成し、フォントに加えました」とのこと。特に合字の使用が予想される方はアップデートを忘れないようにしましょう。

<https://blogs.adobe.com/japan/adobefonts-adobe-support-ligatures-of-new-era-names/>

4. Microsoft、Windows 7の画面に「サポート終了」通知を表示へ(ITmedia エンタープライズ)



Windows 7のサポート終了期限が、とうとう近づいてきました。この4月から「Windows 7の画面にサポート終了について注意を促す通知を表示する」とのことです。

Windows 7のサポート終了は2020年1月14日。Windows 7向け**Internet Explorer(最新版はバージョン11)**のサポートも同時に終了する点に注意しましょう。

ひとつ前の記事でも「新元号に置き換える作業のみならず、OS等のアップデート含む」という言葉がありました。ぜひ、体制整備も含めて取り組みましょう。

<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1903/22/news079.html>

5. 「店はショールーム」でOK、通販好調のニトリ(日経ビジネス)



32期連続の増収増益、連結売上高が前期比6%増の6,081億円に達したニトリ。

「特に都心部のお客様が**店舗をショールーム代わりにしている**」とのことで、自社開発商品を中心とした品揃えの強みが、オムニチャネルの時代になって結実している印象です。

ニトリのECサイトといえば、2015年6月のサイトリニューアル時の大規模トラブルが記憶に新しいところ。当時と比べて、ECサイトの売上が約2.5倍になっており(2015年2月期の155億円から、2019年2月期の389億円)、困難を乗り越え、**熱心にオムニチャネル化に取り組み続けてきたことがわかります**。

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00002/040900232/>

6. パナソニック自らがコンビニ運営に乗り出した「ファミリーマート佐江戸店」のここに注目 (BUSINESS INSIDER JAPAN)



長らく人手不足が叫ばれていますが、コンビニエンスストアも例外ではありません。最近、過酷な労働実態を訴えた加盟店オーナーの意向を受けて、セブン-イレブンが時短営業実験に着手したことが話題になりました。

このような中、IoTを活用した次世代型コンビニの実証実験店舗「ファミリーマート佐江戸店」(神奈川県横浜市都筑区)が4月2日にオープン。「

まず顔認証でチェックインを行い、顔認証実験エリア内の好きな商品を手にとってカウンターで登録、再び顔認証後に退店することで決済が行われる」というしくみのようです。

ご存知のとおり、レジなし無人スーパー「Amazon Go」や、夜間のみ無人で運営する「トライアル Quick 大野城店」のように、小売業界や物流業界を中心に人手不足解消のための取り組みが活発化しています。

ECサイト運営でも人手不足を耳にしますが、よく「人手不足はイノベーションのチャンス」といわれるとおり、業務改善に前向きに取り組んでいきましょう。

<https://www.businessinsider.jp/post-188453>

7. グーグルがSearch Consoleを大改善! プロパティをいろいろ登録する面倒が不要に【SEO記事12本まとめ】(Web担当者Forum)



Google Search

Consoleで、「ドメインプロパティ」と「正規URLのプロパティへのデータ統合」という機能が追加されました。

ドメインプロパティはHTTPSの有無、wwwの有無、サブドメインをまとめて管理する機能、
正規URLのプロパティへのデータ統合は「検索パフォーマンス」「AMPLレポート」「モバイル フレンドリーレポート」などの検索指標のデータを、正規URLとして登録しているプロパティに統合する機能です。

みなさんも、Google Search

Consoleにログインし、画面左上のドメイン名をクリックしてみてください。「プロパティの追加」をクリックすると、「ドメイン」と「URLプレフィックス」の2つから選べるようになっているのがわかるはずです。

新たに追加されたのが「ドメイン」で、まとめて管理するドメインプロパティが登録できます。一方の「URLプレフィックス」は従来どおりのサイト単位の登録です。

<https://webtan.impress.co.jp/e/2019/03/29/32243>

8. Atomic Design を分かったつもりになる (DeNA DESIGN BLOG)



ウェブデザインの話です。

数年前から、Atomic Design (アトミックデザイン)

という言葉を目にするようになりました。「Atom(原子)を最小単位とし、それらを展開してUIを設計するという考え方です。

具体的には、

- Atoms(アトム／原子)
- Molecules(モレキュール／分子)
- Organisms(オーガニズム／生体)
- Templates(テンプレート)
- Pages(ページ)

という順でUIやページをデザインしていきます。

このような「デザインシステム」に関する考え方はこれまでもいくつかありましたが、Atomic Desingはかなり整理されている印象です。UI設計の作業が過剰になりがちなこと、ビジュアルデザイン優先の場合にはマッチしないことに注意が必要しながら、うまくエッセンスを取り入れたいところです。

最近では「OOUI(オブジェクト指向UI)」という言葉も生まれています。こういった考え方を活かして、実務に取り組みましょう。

<https://bit.ly/2QqaTKI>

9. AIが書く詩は、人の心を動かすことができるのか? 「ENCOUNTERS メディア芸術クリエイター育成支援事業成果プレゼンテーション」SPECIAL TALK REPORT (生活者データ・ドリブン・マーケティング通信)



3月1日から3日にGinza Sony Parkで開催された、文化庁主催の「ENCOUNTERS 平成30年度メディア芸術クリエイター育成支援事業成果プレゼンテーション」のイベントレポートです。

個人的に、取り上げられた作品を見たとき、率直に「ユニークな発想の詩だな」と感じました。

新倉健人さんの「AIは人間の予想しない組み合わせを大量につくりだすことができる」という言葉に、大きくうなずきました。

<https://seikatsusha-ddm.com/article/10033/>

10. 2018年のインターネット広告媒体費は1兆4480億円に。モバイル+動画広告の伸びに注目 (ウェブ電通報)



2018年の電通の実態調査で、インターネット広告費が1兆7,589億円に達しました(広告媒体費1兆4,480億円、広告制作費3,109億円)。日本の総広告費は6兆5,300億なので、4分の1以上を占めたこととなります。

インターネット広告費について、特に注目すべきは次の2点です。

- **ビデオ(動画)広告が全体の14.0%にあたる2,027億円まで増えたこと**(2017年は9.5%にあたる1,155億円)
- **広告媒体費の内訳で、モバイル広告が70.3%の1兆181億円となったこと**(デスクトップ広告は29.7%の4,298億円)

インターネット広告費が1兆円を超えたのが2014年。それからわずか4年で2兆円が目前に迫り、しかもモバイル広告だけで1兆円を超えるまでに成長しました。

今後も、ビデオ広告とモバイル広告が市場を牽引していきそうです。

次回のコラムを見る »



益子 貴寛(ましこ・たかひろ)

株式会社まぼろし 取締役CMO

<https://maboroshi.biz/>

1975年、栃木県宇都宮市生まれ。早稲田大学大学院商学研究科修了。

Webサイトのコンサルティング、企画・設計、制作業務、教育、執筆活動に従事。社団法人全日本能率連盟登録資格「Web検定」プロジェクトメンバー。元・金沢工業大学大学院工学研究科(東京・虎ノ門大学院) 知的創造システム専攻 客員教授。

主な著書に『Web標準の教科書』(秀和システム)、『伝わるWeb文章デザイン100の鉄則』(同)、『現場のブロから学ぶXHTML+CSS』(共著、マイナビ)など。

2017年5月、企画・構成から監修、執筆まで総合的に関わった書籍『ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 3 Webディレクション 第3版』(ワークスコーポレーション)が発売。